

**製品名: eIF4E (8C8) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03537**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 25 kDa; Observed MW: 25 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EIF4E
別名	EIF4E; EIF4EL1; EIF4F; Eukaryotic translation initiation factor 4E; eIF-4E; eIF4E; eIF-4F 25 kDa subunit; mRNA cap-binding protein
遺伝子 ID	1977
SwissProt ID	P06730
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

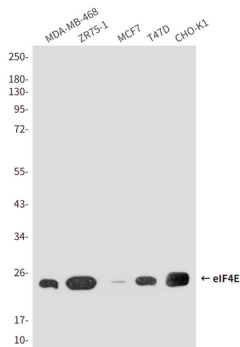
eIF4E は、接合子転写開始前の初期胚において、母体 mRNA の翻訳を調節するタンパク質です。eIF4E は翻訳速度全体にも影響を与

えます。eIF4Eは真核生物 mRNA の 7 メチル GTP キャップ構造に結合します。eIF4E のセリン 209 のリン酸化は、このタンパク質の 7 メチル GTP キャップおよび/または RNA に対する親和性を調節します。リン酸化はまた、eIF4E と eIF4G の相互作用を促進し、eIF4F と呼ばれる複合体を形成します。eIF4E のリン酸化は、多くの細胞種において翻訳速度の上昇と関連しています。

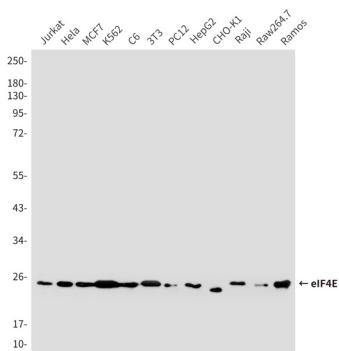
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



eIF4E 抗体を使用した MDA-MB-468、ZR751、MCF-7、T47D、および CHO-K1 溶解物中の eIF4E のウエスタンブロット分析。



eIF4E 抗体を使用した、Jurkat、Hela、MCF-7、K562、C6、3T3、PC-12、HepG2、CHO-K1、Raji、Raw264.7、および Ramos 溶解物中の eIF4E (8C8) のウエスタンブロット分析。